

水郷柳川

～修学旅行誘致 柳川市情報～

令和3年度

◇柳川市の概要

■地勢

- ・福岡県南部、有明海に面した筑後平野の西南端
- ・古くから開拓や干拓された土地が、魚のうろこのように広がる海面干拓地帯
- ・標高は、0～約6mの平坦な低地

■観光

- ・柳川藩10万9千石の城下町
- ・城堀を巡る「川下り」は年間36万5千人が楽しむ
- ・令和元年の観光客数は125万人
- ・福岡県を代表する観光地

■産業

- ・温暖で平坦な土地により、米・麦・大豆など農業が盛ん
- ・有明海に面しており水産業が盛ん
- ・海苔漁業は全国2位の生産地

■著名人

- ・詩聖 北原白秋をはじめ、芥川賞作家の長谷健や直木賞作家の檀一雄など、多くの文人を輩出
- ・相撲の横綱土俵入り「雲龍型」の考案者第10代横綱「雲龍久吉」、「秀ノ山親方(元大関・琴奨菊関)」の出身地

■人口 64,590人(令和3年4月末現在)

■平均気温 17.2℃(令和元年平均)

■年間降雨量 1,707.5mm(令和元年平均)



◇柳川市へのアクセス

■自動車・バスで九州自動車道（みやま柳川IC）

を經由して柳川市内まで約20分（11km）

○福岡市役所から約60分

○北九州市役所から約100分

◇福岡県修学旅行支援事業

【対象】県内外の小学校・中学校・高等学校、中等教育学校及び特別支援学校が実施する
修学旅行で使用するバス料金

【要件】県内の観光施設等を2箇所以上訪問

【支援額】①福岡県内宿泊施設（政令市除く）に宿泊・・・50,000円（バス1台1日当たり）

②上記①以外の修学旅行（日帰りを含む）・・・30,000円（バス1台1日当たり）

※県内学校と県外学校で条件が異なりますので、詳細は事務局や県へお問い合わせください。（P29 へ）

◇柳川市修学旅行誘致促進事業 柳川市を来訪する修学旅行のへ助成金を交付

【対象】柳川市を来訪する修学旅行の児童、生徒及び引率教員

九州7県（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島）

の小・中・高等学校

【要件】修学旅行で柳川市を来訪し①宿泊又は②2施設以上の利用をすること
（2施設以上：食事、川下り、資料館見学、体験、土産物の購入）

【助成金額】

①柳川市内への宿泊 1,000円／1人

②柳川市内で2施設以上の利用 500円／1人

※①と②のどちらかを助成。

【事業期間】

令和4年2月28日まで。ただし、事業費が無くなり次第終了。

（同日までに実績報告書の提出が必要）

※問い合わせ・連絡先はP29へ



修学旅行のご提案

～柳川観光で思い出づくり～

- ① 川下り ～国指定名勝「水郷柳河」を巡る～
- ② 歴史あるまち並み ～沖端散策～
- ③ 有明海を感じる体験プログラム
- ④ 柳川の美味しいもの ～うなぎのせいろ蒸し～



川下り ～国指定名勝「水郷柳河」を巡る～

令和元年の川下り利用客数は36万5千人。
柳川を代表する観光コンテンツ

すいきょうやながわ

- ・平成27年3月、国指定名勝「水郷柳河」として指定
- ・掘割の役割（城の防御のために作られ、生活用水、農業用水にも活用）
- ・掘割の再生（映画化「柳川掘割物語」監督：高畑勲）
- ・掘割と共に生きる柳川の取り組み（「平地ダム」としての防災機能など）

◇所要時間：約70分（モデルコース：三柱神社→沖端）

◇料金：小学生 1人800円～、中学生以上 1人1,500円～

定員（1艘）は20人ですが、感染予防のため10人程度に制限しています。
また、船頭も透明マスクなどを着用して対応します。
最大で500名（10人×50艘）まで対応できます。



歴史あるまち並み ～沖端散策～

- ・川下りの到着点（沖端地区）には、「御花（名勝 立花氏庭園）」、柳川が生んだ詩聖「北原白秋生家」や「旧戸島家住宅（名勝 戸島氏庭園）」などの歴史的建造物などがあり、散策をお勧めします。

【料金・入館時間・休館日】※新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更になる場合があります。

○御花（立花氏庭園） 電話：0944-73-2189

小中学生400円、高校生500円、大人1,000円

※団体は予約制：10時～16時（火曜日休館）

○北原白秋生家・記念館 電話：0944-72-6773

個人 小・中学生250円、高校・大学生450円、大人600円

団体(20名以上) 小・中学生200円、高校・大学生400円、大人550円

開館時間：9時～17時（年末年始のみ休館）※平均滞在時間約30分

○旧戸島家住宅（戸島氏庭園） 電話：0944-73-9587

小学生以上100円（白秋生家入館者は無料。受付でチケットを要提示）

開館時間：9時～17時「入館は16時30分まで」（火曜日休館）

◇白秋生家では学芸員による「文学講座」も出来ます。（要日程調整）

- ・また、学生団体「有明海塾」が運営する「やながわ有明水族館」があります。手作り感のある小さな水族館で、有明海や掘割の生き物など全70種を展示しています。

○やながわ有明海水族館

小学生～高校生100円、大人300円

開館時間：（平日）12時～16時30分、（土日祝日）11時～17時（火曜日休館）



立花邸『御花』



北原白秋生家



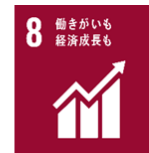
◇大型バス駐車場：旧柳川市民会館（柳川市坂本町29-2）

からたち文人の足湯公園（柳川市弥四郎町9）

柳川むつごろうランド

有明海を感じる体験プログラム①

【4月～10月】



- ・有明海は干潮と満潮の潮位の差が日本一の海！
- ・有明海は生命豊かな海！ムツゴロウをはじめ有明海でしか見られない生物がたくさんいます。

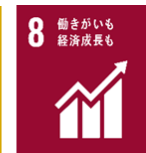


- ◆ムツかけ（干潮時に体験が出来ます。漁期4～10月）
釣竿でムツゴロウを引っ掛けて釣ります。
○料金 1人：1時間 800円
インストラクター1人：1,500円（インストラクター1人に5人まで）
○受入人数 60人

- ◆くもで網漁（満潮時に体験が出来ます。漁期4～10月）
干満の差を利用して魚をすくい取る伝統的な漁法です。
○料金 1基1時間：3,000円（インストラクター含む）
○受入人数 1基7人（小学生10人）まで
1班10人を2班で入れ替り 最大約80人

柳川むつごろうランド

有明海を感じる体験プログラム② 【12月～2月】



- ・有明海は海苔漁業が盛んで、柳川市は全国で2番目の産地です。
- ・昔ながらの手すき、天日干しで板ノリを作る体験をし、その後、現在の海苔生産工場の見学で生産技術の進歩を体感します。



- 料金 30名分:10,000円
60名分:18,000円
90名分:24,000円
- 受入人数30人～90人

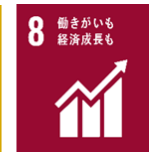


◇近くの海苔生産工場で技術の進歩を学ぶ

- ◇むつごろうランド 柳川市橋本町389 電話 0944-72-0819
- ・開館時間 9時～17時
- ・休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
- ・駐車場:約100台 大型バス6台可

柳川むつごろうランド

有明海を感じる体験プログラム③【通年】



- ・ 有明海の海水からミネラルたっぷりの塩を作ります。
- ・ 海苔の一大生産地である柳川ならではの生海苔を使ったピザ作りをします。



○塩作り体験

料金: 1セット800円(1～5名)

受入人数: 50人

(例) 1班5人 × 10セット

○ピザ作り体験

料金: 1枚1,000円

受入人数: 50人



※塩作り体験＋ピザ作り体験

⇒グループ分けをすることで

合計100人の受入が可能。

◇むつごろうランド

- ・ 住所: 柳川市橋本町389
- ・ 電話: 0944-72-0819
- ・ 開館時間: 9時～17時
- ・ 休館日: 毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合は火曜日)
- ・ 駐車場: 約100台 大型バス6台可





柳川の美味しいもの

～うなぎのせいろ蒸し～

・焼き上がったうなぎを、甘辛いタレをからめたご飯の上にのせ、蒸します。店ごとに秘伝の製法があり、20軒を超えるお店それぞれの味を比べるのも楽しみです。

せいろ蒸しは、身と皮を“柔らかくする”ことと、“アツアツのまま食べられる”という2つの利点があります。

店舗名	席数	料金	営業時間	駐車場	定休日
大東エンタープライズ 電話:0944-72-7900	195	せいろ 2,400円～	食事11:00～18:00	大型:8 普通車:30	なし
柳川 白柳荘 電話:0944-73-1188	180	和定食 1,650円～ せいろ 2,750円～	食事11:30～14:00 オーダーストップ	大型:12	なし
福泉操 電話:0944-73-5760	100	和定食 1,650円～ 小せいろセット2,750円～	食事11:00～	大型:4	なし
柳川藩主立花邸御花 電話:0944-73-2189	200	せいろ 3,630円～	食事11:00～	要相談	火曜日
かんぽの宿柳川 電話:0944-72-6295	120	定食 920円～ せいろ御膳2,250円～	食事11:00～13:30 オーダーストップ	大型:3 普通車:100	なし



①モデルコース（1泊2日）

時間	行 程
【1日目】	学校発 10:30 柳川川下り乗船場 到着 10:40 <u>①国指定名勝「水郷柳河」を巡る</u> ※川下り（約70分） 沖端終点 12:30 昼食 柳川名物「うなぎのせいろ蒸し」 14:00 <フィールドワーク> <u>②沖端周辺散策</u> ※班別行動 （約70分） →柳川市観光案内所、北原白秋生家、旧戸島家住宅、御花 など 17:00 ホテル 着 【柳川市内泊】
【2日目】	ホテル 出発 <有明海の魅力体験プログラム> 9:00 <u>③柳川むつごろうランド</u> （約120分） →ムツかけ、くもで網、海苔すき、塩作り、ピザ作り など ※「ムツかけ、くもで網」は、有明海の潮位の関係で時間に変動することがあります。 むつごろうランド 出発 12:00 昼食（和定食など）・お土産購入

②モデルコース（日帰り）

時 間	行 程
10:30	学校発 柳川到着
10:40	＜川下り体験＞ <u>①国指定名勝「水郷柳河」を巡る</u> （約70分） 沖端終点
12:30	昼食 柳川名物「うなぎのせいろ蒸し」
13:15	＜フィールドワーク＞ <u>②沖端周辺散策</u> ※班別行動 （約60分） →柳川市観光案内所、北原白秋生家、旧戸島家住宅、御花 など
14:30	＜有明海の魅力体験プログラム＞ <u>③柳川むつごろうランド</u> （約60分） →ムツかけ、くもで網、海苔すき、塩作り、ピザ作り など ※「ムツかけ、くもで網」は、有明海の潮位の関係で時間が変動することがあります。
15:30頃	むつごろうランド出発

フィールドワークのご提案



◇柳川が輩出した多くの文人	P13
◇柳川にある3つの国指定『名勝』.....	P15
◇柳川のお雛様祭り「柳川まり」と「さげもん」.....	P16
◇柳川市の形成 ～干拓による土地の拡張～	P17
◇柳川の水環境①「海水と真水の管理」.....	P18
◇柳川の水環境②「平地ダム・掘割の役割」.....	P19
◇よみがえった掘割	P20
◇田中吉政 ～掘割を造った土木の神様～	P21
◇柳川藩初代藩主 立花宗茂 ～復活の大名～	P22
◇第10代横綱 雲龍久吉 ー横綱土俵入り「雲龍型」の考案者	P24

柳川が輩出した多くの文人



・北原 白秋 (詩人・歌人・童謡作家) 『日本近代文学に偉大な足跡を残した詩聖』

1885年(明治18年)造り酒屋を営む旧家(現・白秋生家)に生まれ、1904年(明治37年)に早稲田大学英文科予科に入学。学業の傍ら詩作に励み、1909年(明治42年)処女詩集『邪宗門』を発表。2年後、詩集『思ひ出』を発表。名実ともに詩壇の第一人者となります。その後も、詩歌集や童謡集などさまざまな分野で作品を発表。「雨ふり」、「待ちぼうけ」、「からたちの花」、「この道」など。聴いたら誰もが知っている、今なお、歌い継がれる作品を数多く残しています。

・木村 緑平 (自由律の俳人) 『すずめの俳人』

1888年(明治21年)生まれ。中学伝習館、長崎医学専門学校を経て医者となります。学生時代から俳句を雑誌等に投稿し、医学生時代に荻原井泉水に師事して活動が本格化。緑平の号も井泉水から与えられたもの。大牟田の三井三池鉱業所病院に勤務中に、漂泊の俳人種田山頭火と出会い、以来物心両面で彼を支えることとなります。自由律とは、従来の季語や五・七・五にとらわれず、自由に心境を詠む俳句のことです。緑平は特に雀を詠んだ句が多く、「すずめの俳人」と呼ばれました。

・長谷 健 (文人) 『芥川賞受賞作家』

1904年(明治37年)下宮永に生まれます。教師として柳川市内の小学校に勤めた後、昭和7年東京の小学校へ転勤上京します。彼の代表作で芥川賞を受賞した『あさくさの子供』は、彼の教師体験がベースになっていると思われます。終戦近くから郷里へ疎開し、柳川文化クラブの会長を務め、北原白秋の「帰去来」詩碑建立にも尽力しました。

・檀 一雄 (文人) 『直木賞受賞作家』

1912年(明治45年)生まれ。柳川の生まれではありませんが、父親の実家が柳川だったので「ふるさとは柳川です」と答えるほど柳川に親しみを持っていました。代表作である『リツ子・その愛』、『リツ子・その死』、直木賞を受賞した『長恨歌』と『真説石川五右衛門』で流行作家の一人となりました。



北原白秋 (白秋記念財団より)

柳川は、我が詩歌の母體

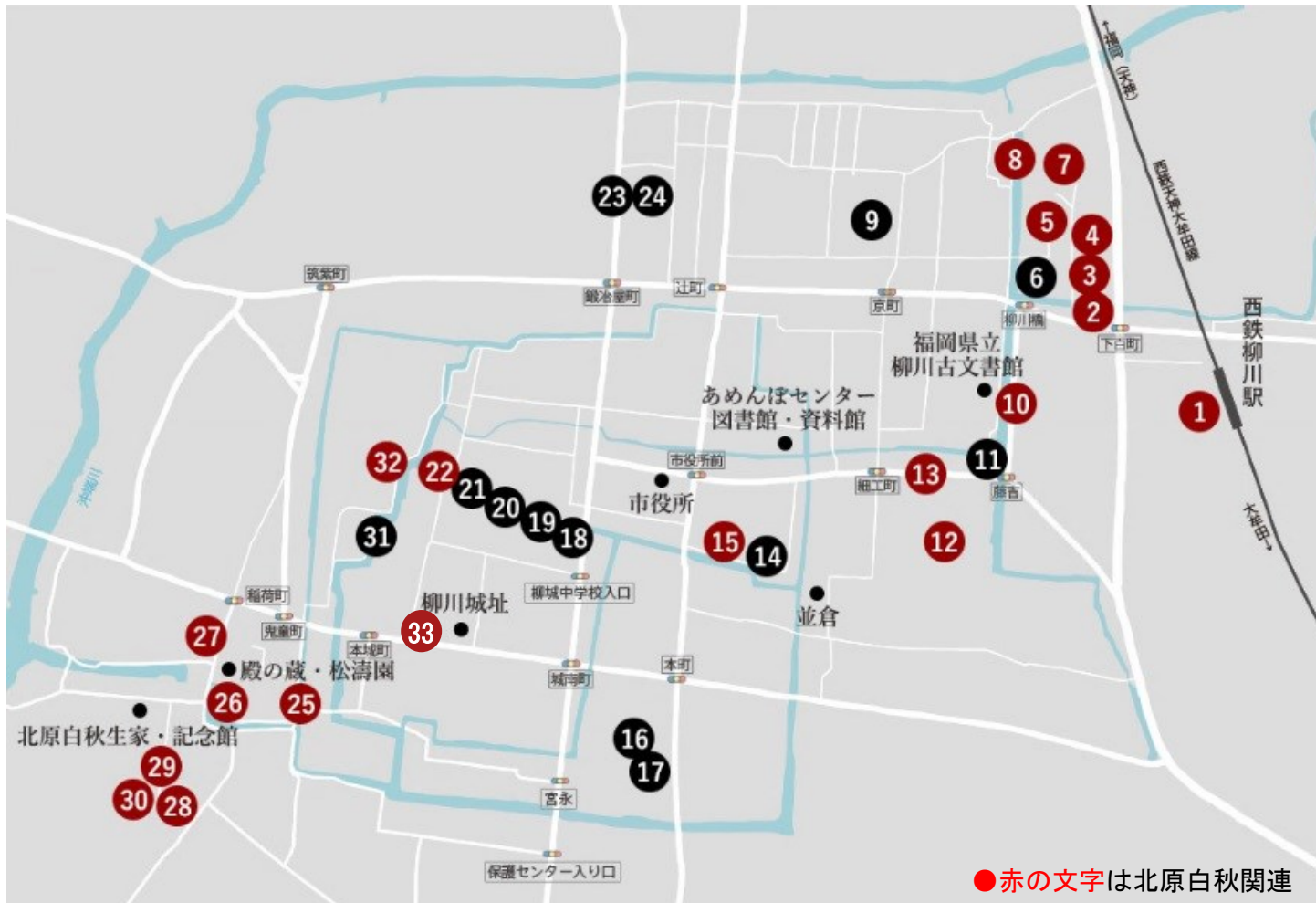
「雨ふり」
雨あめ ふれふれ 母さんが
蛇の目でおむかいうれしいな
ピッチピッチ
チャップチャップ
ランランラン

【学習のポイント】

北原白秋をはじめとして、柳川市からは明治中期から後期にかけて、多くの文人が誕生しました。決して大きな街とは言えない柳川がなぜ何人もの文人が輩出できたのか、その背景を探ってみるのもよいかもしれません。

柳川文学碑マップ

詩情あふれる水郷柳川には、郷土の偉大な詩人「北原白秋」や作家「檀一雄」「長谷健」などの他、柳川を訪れた詩人や作家たちの詩碑・歌碑・句碑が多く建てられています。



- | | |
|-------------|---------------|
| 1 からたちの花詩碑 | 2 水の構図碑 |
| 3 欄干橋の歌碑 | 3 立秋詩碑 |
| 5 五足の靴ゆかりの碑 | 6 木俣修歌碑 |
| 7 三柱宮手洗場の歌碑 | 8 三柱宮祇園守の歌碑 |
| 9 酒井黙禅句碑 | 10 鋤崎土居の歌碑 |
| 11 高浜虚子句碑 | 12 真勝寺の歌碑 |
| 13 石橋庭水中歌碑 | 14 宮柊二歌碑 |
| 15 袋町遊歩道歌碑 | 16 木下三丘子句碑 |
| 17 檀一雄墓碑 | 18 うなぎ供養碑 |
| 19 木村緑平句碑 | 20 長谷健文学碑 |
| 21 河野静雲句碑 | 22 弥兵衛門橋の歌碑 |
| 23 河野静雲句碑 | 24 松根東洋城句碑 |
| 25 水影の碑 | 26 沖端水天宮通りの歌碑 |
| 27 沖端二丁堰の歌碑 | 28 矢留小学校校歌記念碑 |
| 29 沖端大神宮の歌碑 | 30 帰去来詩碑 |
| 31 檀一雄文学碑 | 32 まちぼうけの碑 |
| 33 白秋句碑 | |

柳川にある3つの国指定『名勝』

福岡県の国指定『名勝』（8件）

◆立花氏庭園「御花」（柳川市）

電話:0944-73-2189

小中学生400円、高校生500円、大人1,000円

※団体は予約制:10時～16時(火曜日休館)

◆戸島氏庭園(柳川市)

電話:0944-73-9587

小学生以上100円(白秋生家入館者は無料。受付でチケットを要提示)

開館時間:9時～17時「入館は16時30分まで」(火曜日休館)

◆水郷柳河(柳川市)

◆清水寺本坊庭園(みやま市)

◆旧蔵内氏庭園(築上町)

◆旧伊藤傳右工門氏庭園(飯塚市)

◆藤江氏魚楽園(川崎町)

◆英彦山庭園(添田町)



戸島氏庭園

「名勝」とは、主として人間の作意と技術によって造られた人文的なものと(庭園など)、主として天然の営為や素材によって生じてきた自然的なもの(松島、天橋立など)に大別されます。

日本に暮らす人々がそれぞれの土地に紡いできた思いを、名所や風景、庭園に継いでいくのが名勝です。



立花氏庭園

【学習のポイント】

平成27年に名勝指定を受けた「水郷柳河」は、掘割や白秋生家などの建物群を含めた景観全体が指定を受けた県内では唯一の場所です。昭和53年に名勝指定を受けた市内の2つの庭園と共に、水郷都市柳川の文化と歴史を今に伝える文化遺産を学ぶことができます。

柳川のお雛様祭り 「柳川まり」と「さげもん」



柳川の雛祭りです飾る「さげもん」は、江戸末期頃より、女の子が生まれると初節句のお祝いにお雛様の代わりに古着の端切れで小物を作り飾ってお祝いしたのが始まりだと言われています。

さげもんとは、竹の輪に、7個7連に49個の小物と、真中に大きな柳川まりを2個さげて、全部で51個をつるしたもので、人生50年と言われていた時代に一年でも長生きしてもらいたいという親の願いが込められています。

小物とは、鶴、亀、えび、三番叟といった縁起のもので、一つ一つ袋ものになって物を入れることができます。

縁起ものを吊るして、初節句の女の子の幸せと健康、無病息災、良縁を願って飾る「さげもん」。親から子へ子から孫へ受け継がれ、地域みんなで祝う風習が今なお続き、心温まる思いやりと地域の絆を大切にしています。



柳川市では、1月中旬から観光施設や店舗などでさげもんが展示されています。



『柳川雛祭り・さげもんめぐり』
(2/11) おひな様始祭
(3月) 初節句めぐり
(3/中旬) おひな様水上パレード
(4/3) 流し雛祭

※「柳川まり」と「さげもん」は、常時『よかもん館』と『観光案内所』に展示しています。

【学習のポイント】

柳川の「さげもん」は、静岡稲取(いなとり)の「雛のつるし飾り」、山形県酒田の「傘福(かさふく)」と共に、日本三大つるし飾りの一つに数えられおり、その「さげもん」に使われているのが、県指定の民芸品でもある「柳川まり」です。イベント時期には市内各所で飾られたさげもんを見ることができます。

柳川市の形成 ～干拓による土地の拡幅～

干拓は海を締切り、海水を排水することで現れた海底がそのまま陸地になります。
土地の造成自体は埋立てより手間はかかりません。
干拓はよほど遠浅か、潟のできる自然条件が揃っていないと行うことができません。



柳川では有明海の干満差を利用して、すでに13世紀には干拓が行われていたと考えられています。

関ヶ原合戦後、柳川城に入城した田中吉政によって、慶長7年(1602)にみやまし高田町渡瀬から柳川市を經由し大川市酒見へと至る堤防の補強を命じ、総延長32kmに及ぶ「慶長本土居」と呼ばれる干拓堤防が造られました。これを起点にその後の干拓は行われています。

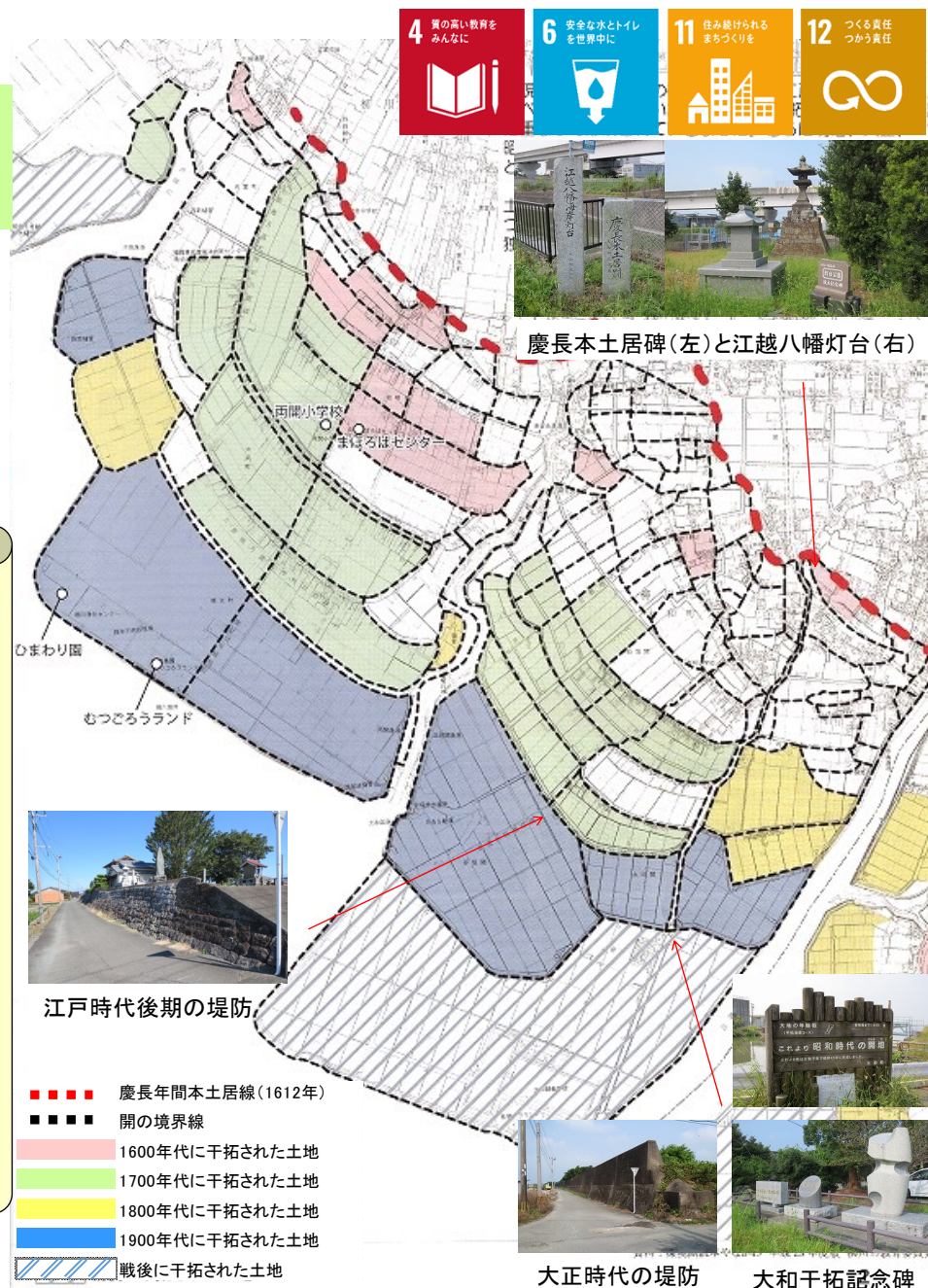
干拓地を描く「皿垣開絵図」には、干拓地ごとに名称が書き込まれており、多くは開発者の名前が付けられています。江戸時代中後期くらいまでの干拓は、藩士たちを中心として様々な主体で行われ、すべて人力で比較的小規模であったことがわかります。その形は少しずつ干拓され、まるで鱗のような形となっています。

時代経過とともに干拓工事は大規模になっていき、昭和時代には国営事業として昭代干拓(昭和38年)と大和干拓(昭和45年)が完成して、今の形となっています。

江戸時代から昭和時代まで各時代の干拓堤防を見学し、技術の発達や土地の歴史を学ぶことができます。

【学習のポイント】

柳川市を南へ、有明海へと向かうと、家が横一列で建っている集落があります。これは、干拓の堤防に作られた家々で、干拓が作られた広がりを知ることができます。
江戸時代から昭和までに、田や畑として土地を拡幅した干拓事業の歴史が身近に学べます。



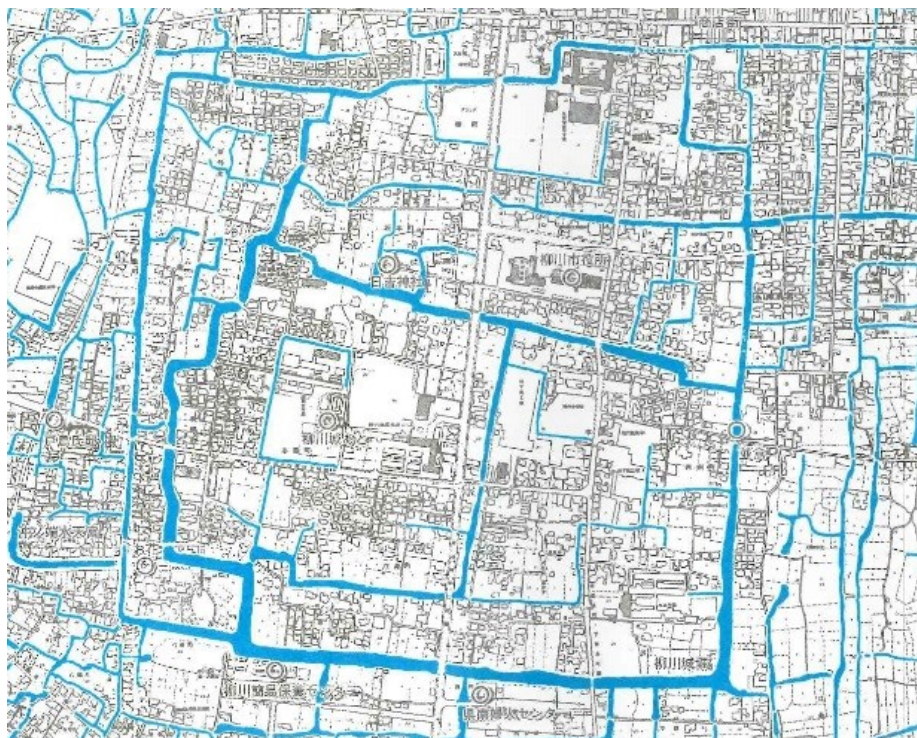
柳川の水環境① ～水との共生空間「海水と真水の管理」～



柳川市の豊かな農地を潤す水や、観光を代表する川下りの掘割の水。これらの多くは矢部川に流れる水を利用しています。

全体が平地で低地になっているため、水を循環利用するのに先人たちは様々な工夫を凝らし、市内に網の目のように水路を張り巡らせ、地域独特な水利利用システムを構築してきました。

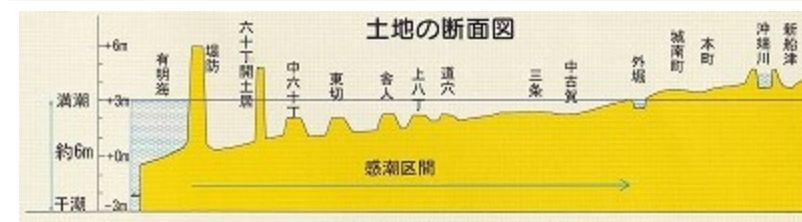
この水利システムは、水郷のまち柳川市の特徴ある風景を創りだしています。



柳川市内中心部の水路図

【学習のポイント】

生活用水や農業用水は真水が必要です。しかし、柳川市は有明海の潮の満ち引きにより、水門等を設置し管理しなければ、海水が入ってきます。上流から真水を町全体に行き渡らせ、不要な水を排出し、海水を流入させない柳川市の水利利用システムは、数百年前の先人たちの知恵なのです。



市内を流れる川や水路の多くは、有明海の潮の干満の影響を受けます。感潮区間は約10kmにも及び、農地の大半はこの範囲内に含まれています。

農業用水への海水の流入を食い止め、不必要な水だけを排水できるように、河川には水門を設置して、コントロールしています。

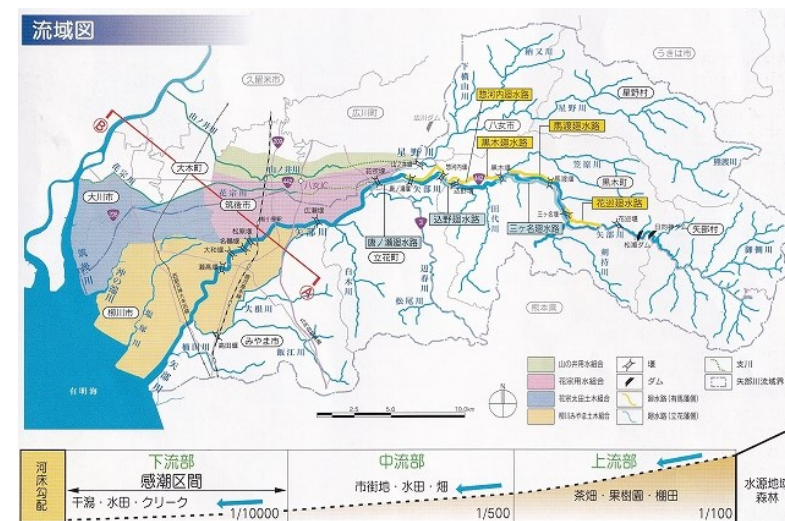
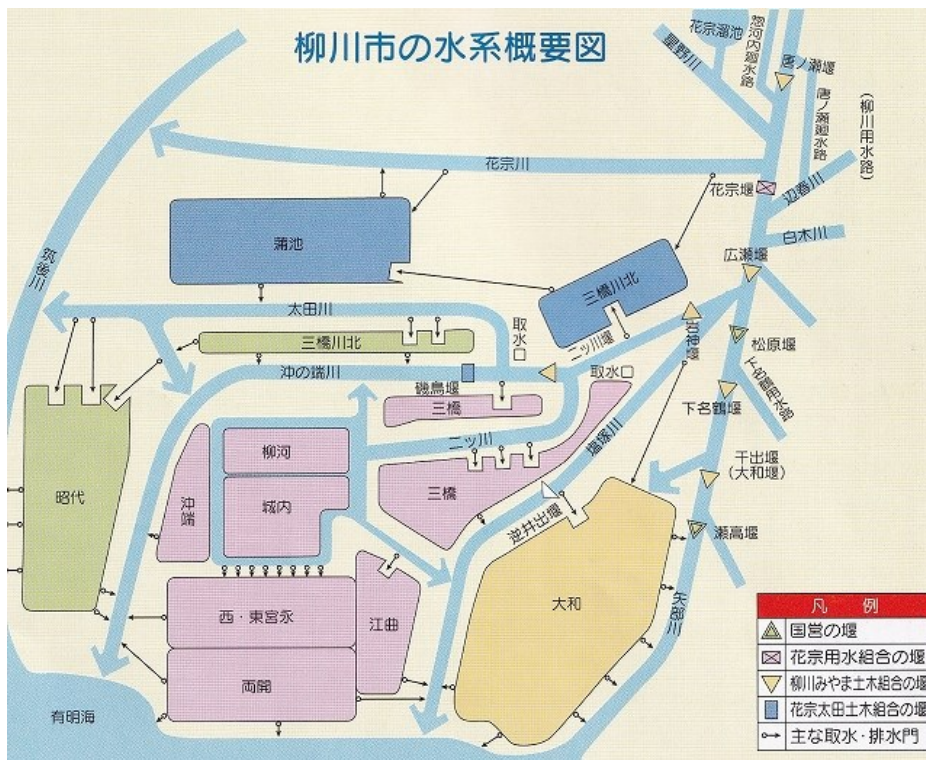
また、陸地内においては、矢部川分流のそれぞれの河川から取水した真水が、それぞれの農地に行き渡るように、制水門等で管理しています。



バタフライゲートの仕組み

柳川の水環境②

～水との共生空間 「平地ダム・掘割の役割」～



柳川市は筑後川と矢部川などの1級河川の河口に位置し、有明海に面しています。

柳川市の水源は矢部川に依存し、雨が降らなければ水が流れてきません。一方、大雨が続けば大量の水が流れてきます。そのため、上流から流れてくる水の管理には、昔から苦労していました。

市内を巡る大小さまざまな水路の全長は930kmに及びます。水門も大小1100箇所ほどあり、巨大な排水ポンプも20箇所整備されています。

天気予報で大雨の予報が出された時には、水門管理人等により水門を開け、事前に水路の水位を下げて大雨に備えます。これを『先行排水』といいます。

このように水路を空に近い状態にして、大雨時の水の受け皿として水路が機能し「平地ダム」の役割もにないます。

この方法は、事前に水を抜くため、大雨にならなかった時には水がなくなり、農業・防火用水が不足することになりますので、市民の理解が必要です。

【学習のポイント】

災害時には大量の雨水を受入れ、被害を軽減する役割も果たしている柳川の掘割は、江戸時代から既に水門の開閉によって洪水を防ごうとした記録が残っています。先人の知恵を生かしながら今後も続く取組によって、柳川の人々の生活は守られているのです。



大雨時の幹線水路



流末の水門

よみがえった掘割

映画「柳川堀割物語」



◇昔の掘割

- ・飲み水として使う(それほどきれい)
- ・生活水(野菜を洗う、洗濯)
- ・魚やカニ、ホタルが飛ぶ
- ・生き物がいっぱい



◆戦後、高度経済成長期

- ・水道整備が進み、各家庭にはいつもきれいな水
- ・化学合成洗剤など、家庭から汚水の排出
- ・ごみ一杯(テレビ、タンス、自転車など)が投捨てられる

掘割はドブ川へとその姿を変えた！



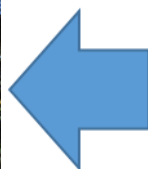
水路にコンクリートの蓋をしよう



ちょっと待って！

もう一度、水路をよみがえらせよう！

住民参加による「ゴミの撤去」「ヘドロの除去」「汚水の流入防止」などを行う。



きれいになると



◆市立図書館1階にある「水の資料館」で学ぶことができます。

- ・入館料は無料。毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日に振替)
- ・電話 0944-74-4111

この取り組みは、宮崎駿制作・高畑勲 監督により映画化『柳川堀割物語』で全国に紹介される。



【学習のポイント】

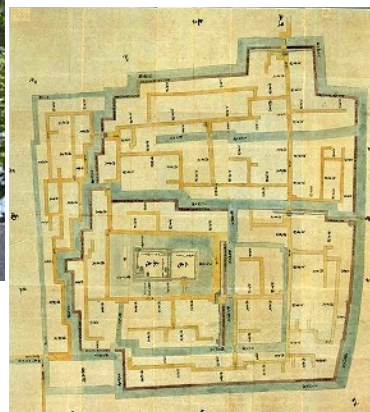
昭和50年頃、掘割は荒廃(こうはい)を極め、コンクリートでふたをすることが決まりつつありました。これに対し、柳川市役所の一職員だった広松伝(つたえ)さんは、住民を巻き込んでの河川浄化計画を実行に移し、清流を蘇(よみがえ)らせました。「水の資料館」では、広松さんの努力と苦勞の軌跡(きせき)をパネル写真や書物から感じ取ることができます。

田中吉政 ～掘割を造った土木の神様～

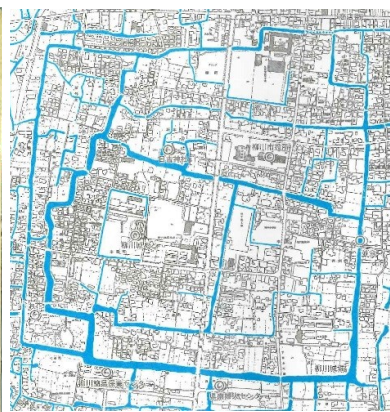


- ・ 1548年近江の国（滋賀県）に侍の子として生まれる。
- ・ 豊臣家の家来として活躍
- ・ 1600年の関ヶ原の戦いにおいて西軍大将『石田三成』を捕らえる功績
- ・ 久留米と柳川を含む筑後一国33万石の国主として柳川城に入城
- ・ 城下町のまちなみを整える（掘割の整備）
- ・ 柳川本城と久留米支城とを結ぶ道路「田中道」を整備
（現在の県道久留米柳川線の前身）
- ・ 有明海の干拓堤防をひとつにつなげる「慶長本土居」の築造

※現在の柳川を形づくる事業を僅か8年間で次々と成し遂げる。



国会図書館日本古城絵図の
筑後国柳河城図



近代の柳川市水路図



北原白秋生家・記念館内にある田中吉政公の紹介

【学習のポイント】

「水郷柳川」の原型を造った名将、吉政公の面影をしのぶ散策場所
◇吉政公銅像（川下りコース：坂本町）
◇吉政公に関する展示（北原白秋生家・記念館内：沖端町）
◇吉政公の菩提寺(ぼだいじ)である真勝寺（新町）
※真勝寺(しんしょうじ)の本堂の床下には吉政公の墓石があります。興味深い造りです。



柳川藩初代藩主 立花宗茂 ～復活の大名～

・柳川市では、柳川藩初代藩主「立花宗茂」とその妻「闇千代」を、「NHK大河ドラマに」と誘致活動を行っています。



- ・立花宗茂（1567～1642）
- ・豊臣秀吉より「東の本多忠勝、西の立花宗茂」と評される武勇。
- ・関ヶ原合戦で西軍につき浪人。
- ・その後、徳川幕府第2代将軍秀忠から陸奥棚倉を与えられ大名復帰。
- ・1620年旧領・柳川へ再封される。（2020年は柳川復帰から400年目の年）
- ・関ヶ原敗戦後に旧領に復帰した唯一の武将。

◇『立花家史料館』では、立花宗茂が着用した甲冑をはじめ、藩主夫人の婚礼調度など、立花家の歴史を物語る史料を展示。

『立花家史料館』 柳川市新外町1 電話 0944-77-7888

- ◆開館時間 10:00～16:00
- ◆休館日 展示替期間
- ◆入館料 小中学生：400円、高校生500円、一般1,000円（御花入園料と共通）

【学習のポイント】

義に生きた天下無双(てんかむそう)の宗茂公は、その波瀾万丈(はらんぱんじょう)の一生から、NHK大河ドラマの主人公の有力候補として挙げられています。「立花家史料館」「柳川古文書館」では、それぞれ、武具や調度品の展示、古文書をはじめとする書物から、宗茂公の面影をしのぶことができます。



立花宗茂ゆかりの地



・三柱神社 柳川市三橋町高畑323-1 電話0944-72-3883

社名の由来は、祭神として戸次道雪、その養嗣子にして藩祖立花宗茂、道雪の娘で宗茂の妻闇千代を祀っていることによります。

◆社務所の業務時間 8時～17時

・立花家史料館 柳川市新外町1 電話 0944-77-7888

立花家伝来の近世大名道具や近代伯爵家資料およそ5千点が収蔵されています。また、立花家の歴史を物語る史料を展示。季節ごとに展示替をしながら公開しています。

◆開館時間 10:00～16:00

◆休館日 展示替期間

◆入館料 小中学生：400円、高校生500円、一般1,000円

・柳川古文書館 柳川市隅町71-2 電話 0944-72-1037

筑後地方に散在する貴重な古文書等の史料を収集、保存するとともに、県民の方々に理解しやすいように整理して、郷土学習など生涯教育の場として活用するための施設です。『大友・立花文書目録』、『旧柳河藩主立花家文書』のほか、柳河藩士家や、寺社・農村などに伝わった史料を収蔵。

◆開館時間 9:30～16:30 (入館は16:00まで)

◆休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日に振替)、展示替期間

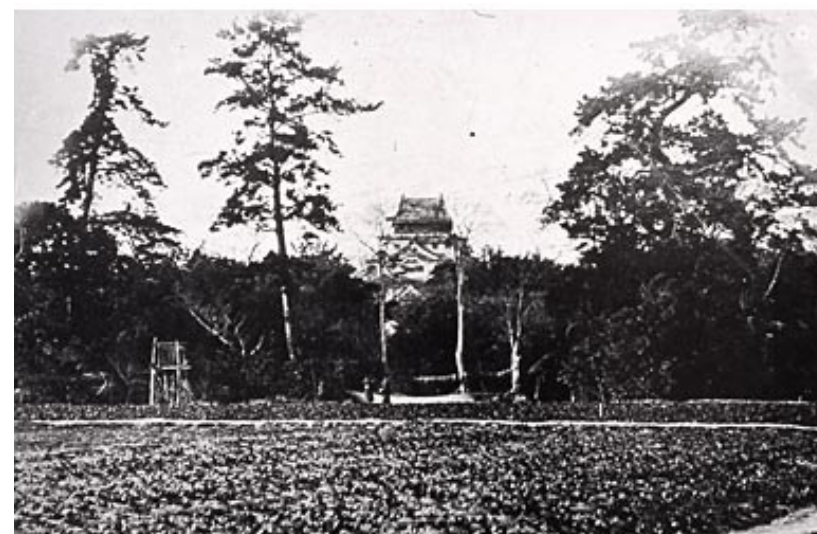
◆入館料 無料

・柳川城址 柳川市本城町88-2 生涯学習課文化財保護係 電話 0944-77-8832

柳川城は、「凡将が籠城しても1年、名将が籠城したら3年は落ちない」と言われる程難攻不落の堅城で、戦いによる落城は一度もなく、常に当地方の中心として存在していました。しかしながら、明治5年に天守や本丸は焼失、現在は本丸の一部が柳川城址として整備され、往時の名残りをとどめています。



三柱神社の欄干橋。擬宝珠は元々柳川城に架かる橋に使われていたものが移設されています。



明治初期に撮影れた焼失前の柳川城。

第10代横綱 雲龍久吉 ー横綱土俵入り「雲龍型」の考案者

- ・10代の幼い頃に両親を亡くし、兄弟の面倒をみる。
- ・20歳の頃、村一番の力持ちとなり、友人が飛び入りで相撲興行へ出場させる。
- ・相撲の技も知らずに押し出すだけ。しかしその怪力に誰もがビックリ。
- ・相撲に興味をもち20歳で相撲部屋へ入門。相撲上達のために日々努力を重ねる。
- ・40歳の時に「横綱免許」を授かり、第10代横綱「雲龍」となる。

<雲龍の土俵入り>

「雲龍型」と呼ばれ、攻めと守りを同時に表現した型です。

横綱の結びは一輪で、「雲龍型」は型の美しさから、後世の多くの横綱が土俵入りの型に選び、現在まで受け継がれています。



雲龍の館内の相撲資料館 雲龍型 と 不知火型

<秀ノ山親方(元大関・琴奨菊関)>

本市出身の秀ノ山親方(元大関・琴奨菊関)は、少年時代に雲龍顕彰記念少年相撲大会に出場し、優勝しています。

令和2年11月に現役を引退しましたが、幕内通算勝利は歴代単独6位の718勝を記録をしています。通算828勝、幕内在位92場所(歴代7位)、殊勲賞3度、技能賞4度受賞するなど、数々の記録を残し、19年にわたる力士生活に終止符を打ちました。

怪我と戦いながらも土俵に立ち続け、一番一番の取り組みに全力で向かうその姿は、多くの方に夢と感動を与えました。

○雲龍の郷 柳川市大和町鷹ノ尾151-2

- ・電話 0944-76-1122
- ・開館時間 10時～18時
- ・休館日: 毎週月曜日、月曜日が祝日の場合は火曜日に振替
- ・料金: 小・中学生50円、高校生以上100円 ー 駐車バス3台

【学習のポイント】

雲龍の郷と併せて訪れてほしいのが海童(かいどう)神社です。ここには、雲龍が16歳のときに天秤(てんびん)棒で担いだという2つの石(『雲龍力石』: 約72kgと約108kg)があります。この『雲龍力石』に触れてみてください。雲龍の怪力ぶりに驚かされること間違いなし!



1988年から「雲龍顕彰記念少年相撲大会」を始めるとともに、1993年に「雲龍の郷」を建設し、雲龍久吉の功績を今に伝えています。



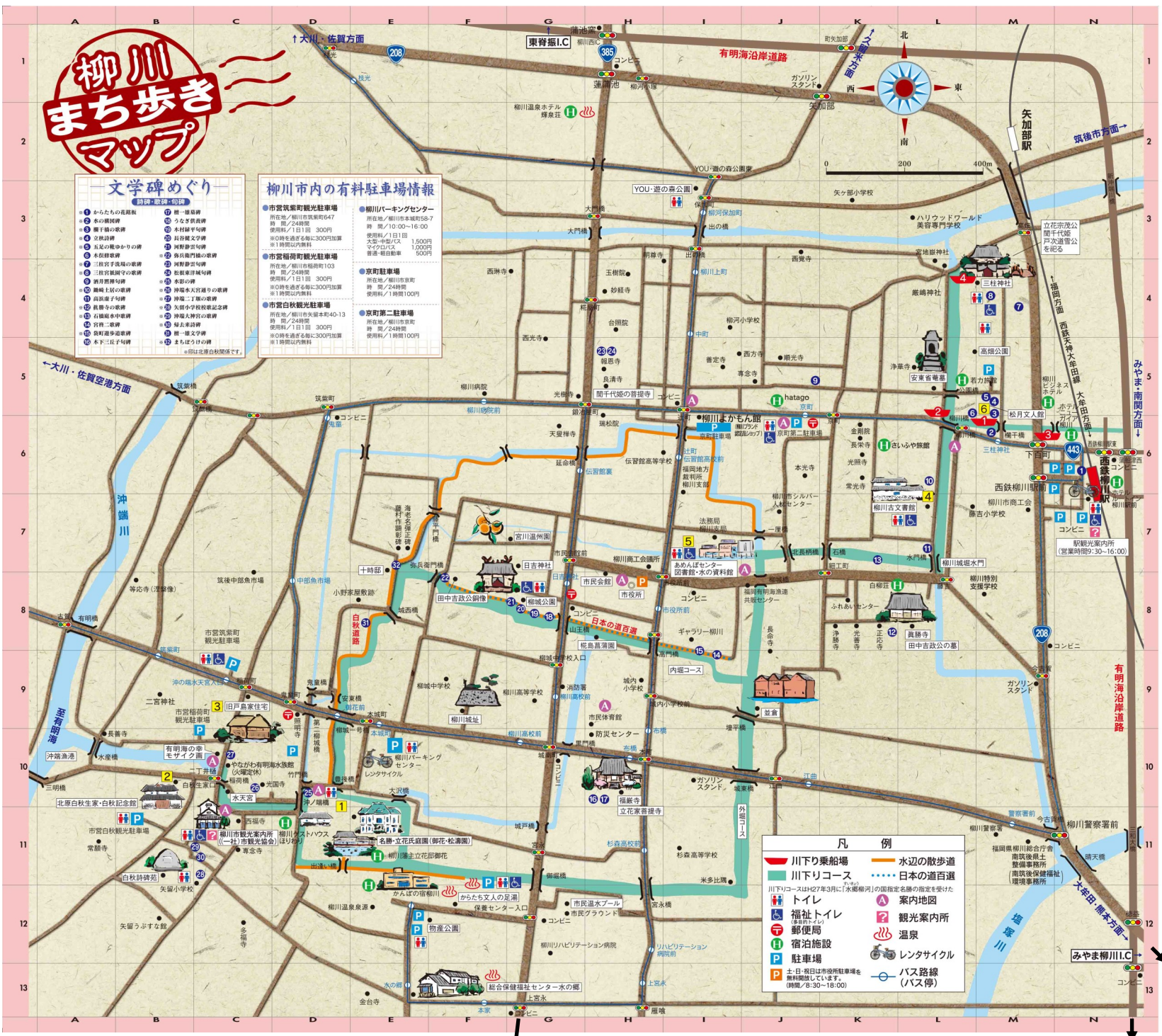
柳川まち歩きマップ

文学碑めぐり

- | | |
|-----------|----------|
| ① からの花の彫像 | ⑩ 第一車庫跡 |
| ② 柳川の戦役 | ⑪ 柳川藩邸跡 |
| ③ 文芸碑 | ⑫ 長谷川文庫跡 |
| ④ 足利の戦いの碑 | ⑬ 柳川藩邸跡 |
| ⑤ 柳川藩邸跡 | ⑭ 柳川藩邸跡 |
| ⑥ 柳川藩邸跡 | ⑮ 柳川藩邸跡 |
| ⑦ 柳川藩邸跡 | ⑯ 柳川藩邸跡 |
| ⑧ 柳川藩邸跡 | ⑰ 柳川藩邸跡 |
| ⑨ 柳川藩邸跡 | ⑱ 柳川藩邸跡 |
| ⑲ 柳川藩邸跡 | ⑳ 柳川藩邸跡 |
| ㉑ 柳川藩邸跡 | ㉒ 柳川藩邸跡 |
| ㉓ 柳川藩邸跡 | ㉔ 柳川藩邸跡 |
| ㉕ 柳川藩邸跡 | ㉖ 柳川藩邸跡 |
| ㉗ 柳川藩邸跡 | ㉘ 柳川藩邸跡 |
| ㉙ 柳川藩邸跡 | ㉚ 柳川藩邸跡 |
| ㉛ 柳川藩邸跡 | ㉜ 柳川藩邸跡 |
| ㉝ 柳川藩邸跡 | ㉞ 柳川藩邸跡 |
| ㉟ 柳川藩邸跡 | ㊱ 柳川藩邸跡 |
| ㊲ 柳川藩邸跡 | ㊳ 柳川藩邸跡 |
| ㊴ 柳川藩邸跡 | ㊵ 柳川藩邸跡 |
| ㊶ 柳川藩邸跡 | ㊷ 柳川藩邸跡 |
| ㊸ 柳川藩邸跡 | ㊹ 柳川藩邸跡 |
| ㊺ 柳川藩邸跡 | ㊻ 柳川藩邸跡 |
| ㊼ 柳川藩邸跡 | ㊽ 柳川藩邸跡 |
| ㊾ 柳川藩邸跡 | ㊿ 柳川藩邸跡 |

柳川市内の有料駐車場情報

- 市営東町観光駐車場**
所在地/柳川市東町6-7
時間/24時間
使用料/1日1回 300円
※0時を過ぎる毎に300円加算
※1時間以内無料
- 市営西町観光駐車場**
所在地/柳川市西町103
時間/24時間
使用料/1日1回 300円
※0時を過ぎる毎に300円加算
※1時間以内無料
- 市営白秋観光駐車場**
所在地/柳川市矢部町40-13
時間/24時間
使用料/1日1回 300円
※0時を過ぎる毎に300円加算
※1時間以内無料
- 柳川パーキングセンター**
所在地/柳川市本町55-7
時間/10:00~16:00
使用料/1日1回 200円
※24時間 1,500円
※土日祝 1,000円
※駐車台数 500台
- 京町駐車場**
所在地/柳川市京町
時間/24時間
使用料/1時間100円
- 京町第二駐車場**
所在地/柳川市京町
時間/24時間
使用料/1時間100円



凡 例

- 川下り乗船場
- 川下りコース
- 水辺の散歩道
- 日本の道百選
- トイレ
- 福祉トイレ
- 郵便局
- 宿泊施設
- 駐車場
- 土・日・祝日は市役所駐車場を無料開放しています。(時間/8:30~18:00)
- 案内地図
- 観光案内所
- 温泉
- レンタサイクル
- バス路線(バス停)

柳川むつごうランド

雲龍の郷

大和千拓

◇宿泊施設

施設名	受入人数	客室数	大浴場	住所、電話	駐車場台数
柳川 白柳荘	110人	ツイン (1) 、 和室 (14) 、和洋室 (4)	有	柳川市新町16 0944-73-1188	大型:12
かんぽの宿柳川	143人	シングル (2) 、ツイン (8、内 1室はバリアフリー対応) 、 和室 (14) 、和洋室 (4) 和室ベットタイプ(10) 露天風呂付特別和洋室 (2)	有	柳川市弥四郎町10-1 0944-72-6295	大型:3 普通車:100
柳川温泉ホテル 輝泉荘	50人	和室 (4) 、洋室 (14)	有	柳川市三橋町柳河874 0944-73-3182	大型:6
ルートイン柳川駅前	268人	シングル (99) 、 ツイン (57) 、ダブル (6) 、 セミダブル (24)	有	柳川市三橋町下百町210-10 0944-75-1551	大型:3 普通車:89
ニューガイア柳川	50人	シングル (40) 、 ツイン (6) ダブル (1)	無	柳川市三橋町下百町1-14 0944-75-1705	無
計	621人	310室			

◇食事処

店舗名	席数	料金	営業時間	駐車場	定休日
柳川 白柳荘 電話：0944-73-1188	180	和定食 1,650円～ うなぎせいろ 2,750円～	食事11:30～14:00 オーダーストップ	大型:12	なし
かんぼの宿柳川 電話：0944-72-6295	120	丼物 800円～ うなぎミニせいろ御膳 2,250円～	食事11:00～13:30 オーダーストップ	大型:3 普通車:100	なし
大東エンタープライズ 電話：0944-72-7900	195	うなぎせいろ 2,400円～	食事11:00～19:00	大型:8 普通車:30	なし
福泉操 電話：0944-73-5760	100	和定食 1,650円～ 小うなぎせいろセット 2,200円～	食事11:00～	大型:4	なし
輝泉荘 電話：0944-73-3182	50	和定食 1,500円～	食事11:00～	大型:6	なし
ランヴィエール勝島 電話：0944-73-9181	270	定食 1,210円～ うなぎせいろ御膳 1,980円～	食事11:00～	大型:6	なし
柳川藩主立花邸御花 電話：0944-73-2189	200	うなぎせいろ 3,630円～	食事11:00～	要相談	火曜日

宿泊施設のコロナ対策状況



レストラン飛沫防止アクリル板



受付カウンター飛沫防止アクリル板



非接触型AIサーマルカメラ



ハンディ型非接触体温計



手消毒剤



加湿空気清浄機

【お問い合わせ】

柳川市産業経済部観光課

電話0944-73-8111(代表)、内線8176・8566

E-Mail kanko-machi@city.yanagawa.lg.jp

〒832-8601 福岡県柳川市本町87番地1

①福岡県修学旅行支援事業

【事業実施者】

○福岡県 商工部 観光局 観光振興課 国内誘客係
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
電話 092-643-3429・FAX 092-643-3431

【申請業務受託者】

◇福岡県修学旅行支援事業事務局
(東武トップツアーズ株式会社 福岡支店内)
〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目11-1
天神武藤ビル4階
電話 092-739-0010・FAX 092-739-7773

②柳川市修学旅行誘致促進事業

【事業実施者】

○柳川市 産業経済部 観光課
〒832-8601 柳川市本町87番地1
電話 0944-73-8111(代表)、内線8176・8566
FAX 0944-73-2516

【申請業務受託者】

◇一般社団法人 柳川市観光協会
〒832-0065 柳川市沖端町35
電話 0944-73-2145・FAX 0944-72-9013

※本資料に記載している料金については、令和3年6月現在です。

※新型コロナ対策のため、営業時間等が変更されている場合があります。